

北陸新幹線^{延伸計画} 交野の地下を通過？

地下水への影響は？

かたの民報

2024年8月1日
NO.1796

【発行】
日本共産党
市会議員団

ご相談は市役所
議員団控室へ

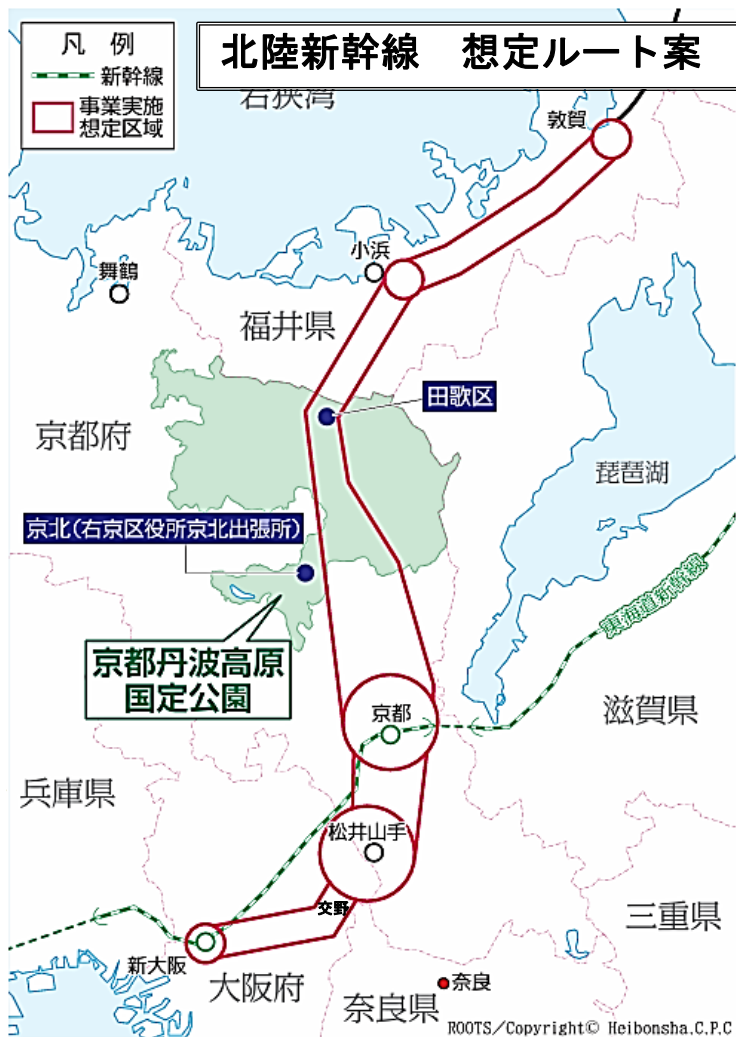
私部 1-1-1
☎892-0121
(内線 301)



さらがい ふみ
星田 7-44-21
☎894-2835



藤田 まり
私部 6-17-1-209
☎397-3027



地図提供：京都民報社

7月8日の議会全員協議会で、市は、交野市における北陸新幹線の動きについて、これまで経緯と今後の対応を報告しました。（市のホームページに資料が掲載されています）

小浜ルートは交野市域を通過

北陸新幹線の敦賀一新大阪の延伸計画は、2017年、与党プロジェクトチームが小浜・京都ルートを決定。京都からは京田辺（松井山

手）附近を経由し、交野市域を通過（地下トンネル構造）して、新大阪に至るルート概要が示されています。現在は環境影響評価の方法書に基づき調査・予測・評価が行われている段階で、詳細なルート等は決まっています。開業予定は2046年とされています。

今年7月には、小浜ルートの事業費が倍増（約4兆円）にする試算が出され、ルートの再考や延伸の中止を求める声も多くあがっています。

地下水への影響が懸念

交野市は、水道水の約8割を地下水から取水しており、北陸新幹線が市域の地下を通過することになれば、大きな影響が懸念されます。

このため、2019年の環境影響評価方法書について、交野市は、「地下水源が枯渇、取水不能となることは…必ず回避されるべき」「地下水への影響については…水利用調査や地質調査等を行い…影響があると予測された場合には適切な対策を実施されたい」などの意見を府知事に提出しています。しかし前市長時、これらの経過について議会への報告等はありませんでした。

裏面へ続く